

# 2022年度（令和4年度）精密工学会高城賞 贈賞式

於：2023年度 精密工学会 春季大会 贈賞式

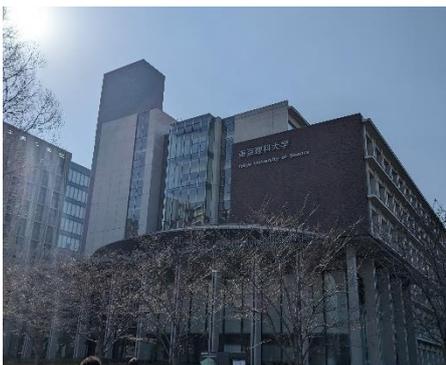
2023年(令和5年)3月15日(水)午後3時より、東京理科大学葛飾キャンパス 図書館大ホールにて、精密工学会高城賞の表彰式が執り行われ、理事長代理で高増常務理事が出席し、2件の論文に授与いたしました。

1.“Multimode vibration cutting” – A new vibration cutting for highly-efficient and highly-flexible surface texturing 【Precision Engineering Vol.72】

Hongjin Jung（名古屋大）、Takehiro Hayasaka（同左）、Eiji Shamoto（同左）、Hiroaki Ishii（多賀電気）、Takashi Ueyama（同左）、Seiji Hamada（同左）

2.Novel highly-efficient and dress-free polishing technique with plasma-assisted surface modification and dressing 【Precision Engineering Vol.72】

Rongyan Sun（大阪大）、Atsunori Nozoe（ミズホ）、Junji Nagahashi（同左）、Kenta Arima（大阪大）、Kentaro Kawai（同左）、Kazuya Yamamura（同左）



高城賞とは、精密工学分野で独創性に優れ、工業的価値が高いと認められる論文で、その内容が産業界全体で実施されたものを対象とし、精密工学の基礎技術分野での産業界の活動を促進することを目的として贈賞されます。この賞は論文著者個人を贈賞するとともに、それを可能とした中心的研究開発実施機関もあわせて表彰する特徴のあるものです。

賞の名称の由来は、当財団に基金を出捐した創設者のうちのお一人で、精密測定技術の発展に貢献した技術者として精密工学会名誉会員であった元榎東京精密の会長の高城誠氏の姓を冠して設置され、今年度は1990年度から通算33回目（変更後は25回目）の贈賞となりました。

